

揚輝荘にもある
ナンジャモンジャの木

PubMed 医中誌の検索方法を出張して紹介(出前講座)のお知らせ

●館内掲示ポスター

2012年3月1日(木)より、PubMed や医中誌 Web (以下医中誌)等の検索ソフトの出張サービスを始めました。

図書館で手を拱いて利用者を待っているのではなく、パソコン室や研究室に向かい、図書館で使える文献検索ソフトを積極的に紹介しようという試みです。

PubMed、医中誌は、医療人としては知っていなくてはならない検索ツールです。どちらも何度も改訂されて誰でも簡単に利用することはできますが、医療の専門家としての使い方があります。それを知ってほしくて、このサービスを企画しました。

愛知学院を卒業して、他所の病院や大学に行って他の学校の卒業生と肩を並べた時、PubMed や医中誌の専門家としての使い方を知らず、恥をかかないように、在学中に覚えてほしい検索方法があります。

医局や研究室で、投稿する時の文献集めで先輩から習うのは言うまでもなく、検索の基本中の基本を覚えて、文献欄を作ったり、できれば海外投稿もどんどんできるような研究者を1人でも多く創出するお手伝いがちょっとできないかな、と思っています。

Google と同じような検索をして、何万件という文献が出てきて、それを絞ったら、必読文献がきれいに消えてしまったというような検索方法ではまずいですよね。

PubMed だと、MeSH を使った検索、医中誌だとシソーラス検索は医療人としては常識です。愛知学院の学生ならそこまでは覚えて卒業して欲しいのですが、大学院や研究室に在籍する研究者には、更にも上の検索方法(診療ガイドラインを作成する時に使う方法で、私は第3の検索方法と呼ぶ)を覚えてほしいです。

そこまで行けば、PubMed 医中誌自由自在、というレベルと言えるでしょう。

それでも、なかなか申し込みはありませんでした。4月19日(木)に初めて1件ありました。受講希望者は歯学部附属病院の5階に研究室を持つ臨床系の若い研究者7名でした。ちょうど歯学部大学院の統合講義の資料ができたてのほやほやでしたので、それを使って、医中誌と PubMed を紹介しようと思いました。お忙しい中1時間という制限時間では、医中誌のシソーラス検索まででいっぱいでした。

若い人はいいですねえ、理解力に優れ、練習問題も難なく解答することができました。お約束の1時間はあっという間に過ぎ、PubMed の紹介は全くできませんでした。次回もあり、ということで、5月17日(木)には医中誌の第3の検索方法から始め、PubMed の MeSH 検索まで紹介しようと思っています。(文責 事務長)